

●大阪高裁で11月7日に和解勧告が出ました。国は線引き（投与時期・製剤・提訴時期）による被害者の切り捨てをねらい、原告団・弁護団・支援者は線引きない全面解決にむけ、必死に走り出しました。政治に対する働きかけは、自民、民主、公明、共産、社民、国民新党、新党日本、無所属と超党派への働き掛けが行われています。様々な要請も、一党一派に偏らない、超党派・潮流の取り組みとなっています。

多数の医療生協などの医療機関の団体、保険医協会など医師の団体、労働組合、患者会に訴訟支援、不買運動などの要請をしました。千葉、茨城、神奈川の地域での要請活動、マスコミへの働きかけ、議会要請も行われています。大学や職場での学習会もいくつか行われました。様々な集会、会議などでも原告がアピールを行いました。

●11月22日には、線引きのない和解勧告・所見を大阪高等裁判所に出させるために、大阪でパレード、田辺三菱本社行動、集会が行われました。大阪の雰囲気は大いに盛り上がりました。東京からも多数の原告・弁護士・支援者が参加しました。

●11月28日には全国の原告代表十数名が国会内集会で訴えをし、各党・各会派の十数名の参加議員の心を揺さぶりました。政治の動きを加速させ、また川田龍平議員、田中康男議員の街頭宣伝につながりました。川田議員は以降、毎週水曜日の朝、厚労省前で宣伝しています。

●12月10日には全国から原告・支援者・弁護士が300名も集まり日比谷公園かもめの広場から厚労省、官邸と徒歩で移動し、福田首相には面談、政治決断要請をしました。大野官房副長官にしか会えず面談約束も得られませんでした。原告団の毅然とした行動はマスコミを通じて大いに社会にアピールしました。原告を応援する世論が高まりました。

●12月13日に大阪高等裁判所が和解案を出しました。国のかたくなな姿勢に引きずられた東京判決ベースの線引き被害者一部切り捨ての和解案でした。原告団は、被害者全員一律救済でないことから拒否しました。

●原告団は、街頭行動を強め、銀座4丁目、マリオン前、御茶ノ水、上野、巣鴨、池袋、厚労省前（川田議員宣伝）等街頭宣伝を連日のように多数回実施しました。1日3カ所行った日もあります。マスコミを通じて社会に原告団の奮闘が伝えられました。大阪、福岡、名古屋でも宣伝が行われました。

ビラの受取も非常に良く、各地でいつも1000枚を超えるビラが配られます。署名の協力も非常に多く、12月18日夜の銀座4丁目行動では、短時間に700筆も

の署名が集まりました。18日の記者会見では、約4万5千筆の署名を記者に示しながら会見が行われ、感極まった山口美智子原告団代表が涙を流しました。

その他、12月15日には、クリスマストークライブと題して早稲田大学で支援の学生グループハーツの取り組みが行われ、川田議員と福田衣里子さんの対談、記者のお話など充実した取組が行われました。

●ざっと支援の活動を中心にひろってみました。いかに激動の情勢のもとで、活動がなされたかおわかりいただけたと思います。頑張られた皆さんに敬意を表します。また、新潟や千葉の活動は十分拾いきれませんでした。各地で様々なアイデアに満ちた活動が行われています。活動ピックアップの漏れについてはお許し下さい。

●原告団は、被害者全員一律救済に向け闘っています。マスコミ報道もかなりあり、葉害肝炎が多数の国民に知られるところとなりました。街頭宣伝の反応も良く、署名を集めると、列ができるほどです。そして、数十から百を超える署名がすぐに集まります。

●原告団は、多数回の書ききれないほどの原告団会議、国会傍聴、議員要請を行っています。病気の体を押して、仕事を休んで、家庭を犠牲にして全国から原告が集まって行動しています。地元にはほとんど帰らず、東京でずっと要請、宣伝活動をしている原告もたくさんいます。寒い中での街頭宣伝にも必死に取り組んでいます。

●皆さんの回りで、運動を広げて下さい。

署名用紙とアクションリストを同封しました。街頭で実に多くの方が署名に協力してくれます。どうか身の回りで署名を集めて下さい。署名集約日は1月15日です。

福田総理、マスコミにあなたの声を伝えて下さい。